

SONY

ソニーが（田んぼで）、はじめた未来。

Cultivation Groundwater | fact 03
Kumamoto, Japan



For the Next Generation

地球の未来を、グリーンに。ソニーのエコロジー

工場に使ったぶんの地下水は、田んぼから返す。
地域の農家と協力して、熊本の地下水を守っています。

地下水の減少を抑えるために、私たちにできること

ソニーが田んぼで、はじめたこと。それは工場と地域をつなぐ、未来への一歩でした。半導体工場ではミクロン単位のゴミや溶剤の洗浄用としてきれいな水を大量に使うため、阿蘇のふもとに位置し、豊かな地下水に恵まれた熊本のこの地に工場をつくることに決めました。ここ熊本の田んぼは「ざる田」と呼ばれる火山灰土で水が浸透しやすく、地下水をつくるために大きな役割を果たしてきました。しかし、減反によって、稲作をやめてしまった「休耕田」や、稲作以外に田んぼを利用する「転作田」が増えたことにより、田んぼから地下に浸透する水が少なくなり、地下水が減っていたのです。この地下水は周辺に住む約100万人分の生活用水としても使われている大切な水。熊本の地下水を守るために、ソニーにできることはないだろうかと考えました。



熊本県菊池郡

次の世代へ、熊本の豊かな地下水を残すために

そこでソニーは地域の方々の協力を得て、田んぼに水を張ってもらえる農家を探しました。稲作を行っていない時期や、畑作と稲作の間の休耕期などに、川から水を引いて田んぼに水を張ってもらうことで水を地下に還元しようという取り組みです。こうして2003年からはじめた「地下水涵養」。実は農地にとってもいい効果がありました。田んぼに水を張ることで土の中の線虫が駆除され、そのための農薬がいらなくなったり、川の水のミネラル分が土に溜まり農地が肥沃になったりしたのです。協力してくださる農家も年々増え、工場に使ったぶん以上の水を5年間で返すことができるようになりました。田んぼに張った水は、やがて地下水となって水の恵みを与えてくれるはず。次の世代に、豊かな水を残すために。ソニーのつくる未来が、はじまっています。

www.sony.co.jp/eco